

レイモンド大津保育園 調査結果報告書 【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	運営法人本部で統一された理念・方針は、ホームページに記載している。入園説明会は入園のしおりを基にまず最初に理念と保育方針の説明から始まっている。毎月発行の園だよりでは、タイトル文字の上と下に理念と方針を記載している。職員会議、クラス会議でも再確認をし、法人研修でも徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	法人による毎年の内部監査で、経営状況の点検が行われている。本部からの提供データや市内民営園長会議からの情報交換などで分析している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	毎月の定例会や主任会で討議し、課題把握をし年次計画に組み込んで、解決に向けて実践している。法人幹部職員のヒアリングで指導や支援を受け、経営課題の現状を確認し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中・長期計画は作成していない。経営環境把握・分析を基に3~5年の計画を作成し文書化することを期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	中・長期計画とは関係なく、本年度計画は、前年度計画を評価・見直しを行い、次年度計画につなげている。中心課題は「つながる保育・保育室内の清潔、清掃・経費削減」に関わるものとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	単年度事業計画は、園長・主任で作成し中間で見直し、年度末ではその結果を確認・評価を行い、次年度計画につなげている。各課題については、職員会議で目標達成に向けてのコメントを職員に出している。主要課題の把握には、職員のアンケートや意見を把握して作成しているが、計画全体についての説明はなされていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	<input type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	保護者会がなく、今年度は集まる機会もなく行っていない。中心的な課題については、園だより等で説明し、中間結果や年度末の到達点など簡潔に報告することを期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	日案、週案、月案を常にPDCAサイクルを回して作成し、乳児・幼児会議(毎月開催)ケースによっては職員会議で検討している。自己評価は毎年行い、第三者評価調査も5年に1回実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9		② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	自己評価、家族アンケート等で得られた評価結果は、即刻可能なものは実施し、それ以外は次年度計画につなげている。即刻実施できるものは日案、週案等職員主導で実施できるが、それ以上の課題については、園長、主任主導で行っている。改善策を実施する場合、職員の参画を得ておけば、皆での評価に繋がってゆくので、前進を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長は、園だよりや行事等にその方針と取り組みを話している。不在時の権限委任を役割分担し全員に周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	就業規則で権利義務を明確にしている。本部園長研修や施設長研修に参加し、会議などで職員に周知している。大津市園長会に参加し見聞を広げている。法令・通達や規則等の変更時は職員に会議等で周知を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	年間・月間・週日案指導計画を通して主任と共に保育の現状把握と指導に努めている。職員の教育・研修の充実を目指しているが、コロナ禍の影響で外部研修が少なくなり期待通りに進んでいない。環境スケール決定時やクラス会議には、適宜積極的に発言している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	本年度事業計画書を作成し、施設の課題を「つながる保育・保育室内の清潔、清掃・経費削減」とし、目標と重点取組内容を定め、中間見直しを行っている。職員に対して職員会議で進捗状況の随時報告が出てくるよう期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	ホームページ上で、保育人材の募集確保に努めている。実習生の受け入れを通して、園の良き点を理解し、就職先として選択してもらえる様努めている。研修への参加・就職フェアの参加・法人内職員紹介制度も活用している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
	職員が作成した目標カードに基づき、年2回園長との個別懇談があり、職務の成果を評価している。職員の将来の姿は意向調査票にて把握しキャリアアップに努めている。個人毎の職歴・資格・研修受講経歴等をまとめた人事管理ファイルの作成が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	就業時間、有給休暇の取得、休暇等の管理を行っている。目標カードや意向調査票に基づき園長との個別面談を通して、職員の希望・思いを聴取し、働きやすい環境作りに反映している。職員相談窓口を法人内に設置している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	法人統一目標・施設共通目標と個別に個人の役割目標を定め、保育意識の向上に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
	個別で目標カードを作成し、年2回の個別面談によって確認し達成度を共有している。フィードバックを行い次年度に向けたアドバイスを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	就業規則、保育園の全体的な計画で職員の資質向上の取組みを定め、研修の目的や意義を述べている。階層毎・職種・経験年数に応じた受講研修テーマを策定している。研修記録を作成し、テーマにより受講内容を職員に報告している。個人別に過去の研修記録を基にした受講テーマの定期的見直しや研修受講予定のスケジュール作成を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	年2回の職員との個別懇談があり、技能などの把握に努めている。職位階層に応じた研修を実施し、研修報告に纏めている。教育研修を通して職員の保育技量の向上と標準化に努めている。外部研修受講の際は、事前準備をし積極的に参加する様努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	法人本部で「保育・教育実習受け入れプログラム、実りある実習受け入れを進めるために」を作成し、当保育園もこれに従って毎年実習生の受け入れを積極的に行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	法人本部ホームページでは、保育所の理念・基本方針をはじめ決算報告や現況報告まで、関連情報を公開している。当園も第三者評価受審は二度目に当たり、サービス向上を目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
	地域社会には、広報誌を発行しているがコロナ禍の影響で、回数が減っている。今後、より多く発行できるよう検討している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	職務分掌表では、園長自らの担当分野となっている。本部作成の経理規定があり、傘下の全保育園はすべてこの基準を進めて、内部監査・外部監査で総てチェックを受けている。当園にも本部役員が来訪し、監査・指導・支援を行って、その結果を事業計画に組み込んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	老人ホームやデイサービスなど年間計画に上げ定期的に訪問、地域高齢者と季節の歌を歌ったり、折り紙を通して触れ合う機会を得てきた。地域の体育館を借り、4・5歳児が思いっきり体を動かす機会を持ち、3歳児はそれを見てあこがれの心を抱き、年長児がやさしく教える姿がある。いずれもコロナ禍のため中止になっているが、収束後には再開を予定している。		<input type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	「実りある実習生受け入れを進める為に」を整備し保育実習生を積極的に受け入れる体制がある。保育実習は感染予防を徹底し受け入れている。お話し会「やまぼうし」が毎月誕生会に絵本や紙芝居の読み聞かせに来園、子供たちの楽しみであった。地域中学生、高校生の職場体験受け入れを予定していたが、何れもコロナ禍の為中止になった。収束後は再開予定である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	関係機関リストを作成し職員室に掲示、新たな連絡先も職員会議で共有し活用できる様になっている。瀬田エリア子育てネットワーク会議が年3回実施され、コロナ禍対策や他保育園での取り組み状況を聞き、問題解決の糸口になっている。関係機関との連携をさらに進めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	未就園児家庭の支援として毎月1回「すまいるひろば」を開催、園での遊びや玩具、給食紹介などを受け保護者は気軽に相談でき、子どもの楽しみの場となっている。コロナ禍により中止となっているが収束後には再開を予定している。「子育て支援だより」は家での遊びやアドバイスなど載せ継続発行しており、施設内に置いてあり活用できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	地域担当保育士会議に参加し、グループワークディスカッションにてニーズ把握に努めている。一時預かり事業を実施していたが、コロナ禍で中止となり6月より再開、月に65~114人の利用に応じている。相談援助を実施、育児、健康、食育に関する知識や技術を園の職員が対応して支援していたがコロナ化で中止となっている。収束後は再開予定である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	全体的な計画に一人ひとりを尊重した保育理念・方針を掲げ、個々を大切にされた保育を行っている。外部研修も機会がある時は参加しているがコロナ禍で中止になる事もあり、「レモンの保育」「レモンのこころ」の冊子でそれらを基に園内研修を実施し、職員会議で報告、共有を図ろうとしている。子供の基本的な人権への配慮について、状況の把握や評価には至っていない。評価分析を実施し、対応を図ってほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
	人権に関する取り組みを保護者に周知するまでには至っていない。幼児組はたて割り保育を実施、年長児が年少児や障がい児と共に遊び生活する中で優しく教える姿がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	児童虐待防止の手引きを作成、人権を配慮した保育・プライバシーの尊重と保護について・子どもの人権を守るために等詳細に記載している。機会を捉え外部研修に参加していたが、中止になることも多くZOOMでの研修に参加、研修報告を作成、回覧し共有を図っている。これらの取り組みを園だよりで知らせるなど、全保護者に伝える工夫を期待したい。不適切な事案が発生したときは、クラス間で話し合ったり、主任や園長に連絡する流れはできているが対応方法の明示はしていない。マニュアルに加えることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
	排泄や着替え時はパーテーションや柵で区切り、見えない配慮をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもつづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページに詳細に分かり易く載せている。園見学者は7月～12月の間に23名あったが、園内見学はコロナ禍対応で断っている。玄関で丁寧にしおり等で説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
	しおりは入園が決まった保護者向けに作成しているため、園にしか置いていない。公共施設には、広報誌を置き誰にでも周知出来る対応を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学者等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育の開始時は入園のしおりを用いて説明し同意を得ており、イラスト、写真を掲載して保護者が理解しやすい工夫をしている。保育内容や行事の変更時は書面で知らせている。弱視、難聴等配慮を要する保護者にはそれぞれ個別に説明して対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすい工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園先から情報の要請があれば電話、文書で対応している。保護者の同意の下に保育の継続に配慮した対応を望みたい。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	保育の振り返りや子どもの声を大切にして活動や遊びに取り組んでいる。行事後のアンケート、保護者支援等に関するアンケートを実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)

	<p>ケート調査を実施して意見・要望を把握し検討を行いイベントの改善に生かしている。コロナ禍にてクラス懇談会は中止しているが個別懇談等で要望・希望を聞き取っている。弊機関の保護者アンケート調査において、保護者の意見や意向は伝えやすいか？の項目が60%台と低値と出ており、利用者満足度を把握する目的で、保護者から聴取する手段の改善・工夫を意識して保育の質の向上に努めてもらいたい。</p>		<input type="checkbox"/> エ 職員等が、利用者満足度を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/> カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4)	<p>利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
34	<p>① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>ホームページに苦情対応に関する実施要領、第三者委員の規定、苦情解決の仕組み(受付担当は主任、苦情解決責任者は園長、第三者委員)を分かりやすく明記して、来園時保護者の目に付くように苦情解決の仕組みを廊下に掲示している。苦情内容、解決策は苦情報告書に記録している。個人情報に関するものは都度保護者にフィードバックし、全保護者に周知を要する事は文書やお知らせ配信で知らせている。ホームページに年間の苦情件数を公開している。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	<p>② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	b	<input type="checkbox"/> ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>保護者が相談等述べやすい環境は確保しているが、相談窓口を分かりやすい場所に掲示するなどの取り組みを望みたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	<p>③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	b	<input type="checkbox"/> ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>送迎時の会話、連絡帳、メモノート、メール、意見箱等を利用して保護者からの相談、意見に応じている。相談や意見に対しては担任、主任、園長が受けて協議、対応しているがマニュアル整備までには至っていない。コロナ感染拡大防止のため玄関で受け入れているが混雑して、逆に密になるのではないかと保護者からの意見があり改善策として足元に距離を保つシールを付けたり、注意喚起のポスターを掲示するなどの配慮をした事例がある。</p>		<input type="checkbox"/> イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5)	<p>安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
37	<p>① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>リスクマネージャーを園長として、事故防止の推進体制を整備し危機対応マニュアルを作成している。9月の職員会議において「安全な保育を目指す」の園内研修として3件の事例検討を行っている。ヒヤリハット報告を昼礼時に行い全職員が周知しており、年度末に集計、分析して大きな事故に繋がらないように努めている。クラス内の安全点検、衛生管理はチェック表で基本点検を毎日行い、設備点検は毎月一回チェック表で点検を実施している。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的にに行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	<p>② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>看護師が感染症対応マニュアルを作成し、職員対象に嘔吐時の処理の仕方など、感染症予防対策に関する勉強会を行い意識や知識の向上を図っている。新型コロナウイルスの対策ガイドブックに基づいて、保護者の送迎は玄関口で行い、食事以外の時は幼児、職員のマスク着用、食事はグループ分けにして対面を避ける等感染拡大防止に努めている。手洗い、うがい等実施に際して園児は持参の布タオルを使用しているが、コロナウイルス感染防止対策において紙タオル使用を検討してもらいたい。地域のレイモンド保育園内の看護師のWeb交流が月1回あり感染状況、対策等の情報交換をして対応マニュアル等の見直しもしている。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	<p>③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 災害時の対応体制が決まっている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>防災訓練計画を立て、毎月災害を想定した避難訓練を一年を通して抜き打ちで行い、子どもの動き・反省等を詳細に記録している。10月には有事の対応とし全員参加の引き渡し訓練を、徒歩・自転車・車で所定時間内に完了している。緊急連絡網は事務室に掲示しており、災害時には保護者に一斉メール配信している。水・食料・簡易トイレなど備蓄は倉庫で保管している。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	保育業務マニュアルを整備し、その中には保育サービスの実施上の留意点(登降園・食事・排泄・遊び・散歩)など手順を文書化し、子どもの尊重・プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢を明記している。法人保育理念・方針・保育内容を纏めた冊子(れもんのこころ・保育)を全職員に配布しているが、各会議や研修時に保育業務の振り返りとして活用を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	業務の改善計画を立て、クラス会議・乳児・幼児会議で検討・見直しを行い、マニュアルの改訂版を差し替えている。年に1回園長・主任・職員で環境保育スケールを測り改善結果を年度始めにホームページで公表している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画責任者(主任)を設置し、年齢別の年間計画に基づき月案・週案を立て、評価・見直しを繰り返し保育を進めている。子どもの発育状況や生活状況を把握し、保育経過記録・児童票を各担任保育士が記入後、主任・園長の手順で最終確認を行っている。一人ひとりに寄り添う保育を行い必要に応じて看護師・本部栄養士の意見を聞き指導計画を作成している。年数回の近隣ブロック園長会に参加し、互いの課題・検討・改善を行い全体的な計画に反映させている。配慮が必要な子へのケースでは子ども・保護者の思いや意向に配慮し、市の巡回訪問・多職種機関等の助言を受け情報を共有し個別指導計画につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	業務日誌による日々の評価・反省に基づいて、週日案に反映させ、週案・月案を評価・反省し次月につなげている。年間指導計画は乳児期から就学前までに別け、目標・ねらいを設定し、年度末に検討・見直し次年度につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 指導計画を緊急に変更する場合は仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分でない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	子どもの発達の姿や生活状況の記録は個別月案、幼児は3か月毎に児童票・チェック表等に記録し、一人ひとりの成長が読み取れるようになっている。記録する職員により差異がないよう主任・園長が助言・指導・確認を行っている。毎月、乳児・幼児会議、職員会議で意見・提案を出し合い職員間の共通理解の場としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	就業規則に個人情報管理規程・取り扱い規程の遵守を明記している。個人情報は児童票に集約し、児童票の保管場所については、全職員に周知徹底している。記録管理の責任者を園長とし鍵の掛かるキャビネットで保管し、USBは持ち出し禁止、文書は5年または永久保存とし、シュレッダー・焼却で廃棄している。新人研修・内部研修を行い記録の管理を遵守徹底し、保護者には入園、進級時に写真の掲載など取り扱いの同意を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

レイモンド大津保育園 調査結果報告書

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
法人及び保育園の理念・方針から保育内容、食育、子育て支援、地域支援や連携・職員資質の向上、外部人材・地域人材の活用迄前年度の評価結果を今年度の計画に生かしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
室内は明るく清潔で空気清浄機を各クラスに設置している。子どもたちが通園バック等の持ち物を出し入れしやすいロッカーを設けてあり、脱いだ靴下を自分で片付けている姿が見られた。発達状況に応じたキッチン、ブロック、絵本コーナーがありタイルカーペットを敷き長椅子でくつろげる配慮をしている。子どもが主体的に自由に好きな遊びができる環境を整備している。幼児の室内はワンフロアだが中央の引き戸により4歳児と5歳児のクラスに別れて使用出来るように工夫している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
乳児は育児担当保育を採り入れ、一人一人に寄り添い発達や生活リズムに応じた細やかな保育を行っている。幼児はクラスでの生活も大切にしつつ異年齢の関わりで憧れや思いやり協調性を養って行けるようにイベント時や、散歩等異年齢保育もしている。支援を要する子どもが、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように、クラス指導計画に位置付けて保育の実践に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
乳児は育児担当制を採り入れ、生活習慣の習得にあたっては、同じ保育士が同じ場所、手順で動作には言葉を添えて行っている。丁寧な関わりの中でできることが増えていき、見守り声掛けしながら、子供がやりたいことを見極め待ってあげたり、手助けが必要な所はさりげなく支援している。お絵描きや食事後、1歳児も椅子を自然に机下にする行為がみられた。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
0歳児クラスは床暖房を取り入れ、安全点検係が毎月職員会議で各場所の清掃を呼びかけ、清潔、安全、安心して活動できるよう促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
4.5歳児の部屋は合同で活動できるように広げたり、2つに仕切り年齢ごとの活動ができるようにしている。子供の発達の様子や興味を持っていることを見極め、遊びや活動が個々に楽しめるように職員間で話し合い、コーナーを展開している。幼児は自分で考え行動できるようになっているので、主体性を大事にしながら寄り添い、子供たちが自分で考え、生活したり			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。

	遊ぶことを見守っている。 施設の周りは自然環境に恵まれており、園庭がない分、戸外活動を多く採り入れ体を動かす機会を作っている。散歩時には多種類の動植物に出会う機会があり、買い物にいられた地域の方に声を掛けてもらったり、挨拶したりと触れ合う機会がある。戸外活動に対して保護者からの評価も高い。		☑	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	育児担当制を採り入れ愛着関係を築く事を基本としている。連絡帳できめ細かな情報を相互に伝えあっている。自宅でのミルクを飲む方法を聞き取り、できるだけ自宅で過ごしているように心地よい環境を作りたいと連携している。一人ひとりの成長、発達、生活リズムに応じて、1対1での食事、歩行が安定するまでは抱っこ食べなど適切なかわりをしてしている。左手にスプーンを持ち、次に食べたいお皿を示して、保育士に「うん うん」と催促している。		☑	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			☑	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			☑	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			☑	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に ⑥ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	月に1回の乳児会議で月齢、発達の様子など伝え合い出来ている事、困っている事、課題、疑問を出し合いそれを基に環境整備や必要な玩具等の購入も相談、検討している。お絵描きに熱中している子5人の隣のコーナーで、保育士見守りの下ペットボトルで作ったピン、紙で作ったボールでボーリング遊びに熱中している子がいる。言葉で思いが伝えられず手がでる子に、友達を傷つける行為はいけない事だとしてしっかり伝え、その子の思いや背景を考えながら、「こうしたかったんやねー」と思いに寄り添い、仲立ちしている。		☑	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			☑	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			☑	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			☑	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			☑	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に ⑦ 展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	各年齢の興味や関心に応じた保育を心がけ、英語、体操、ダンスなど個の力を伸ばしながら、一人ひとりの育ちを丁寧に見守っている。異年齢での近隣公園への散歩など、保育士や友だちと共に遊びや活動に夢になれる環境を作っている。		☑	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			☑	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	バリアフリーの保育室・廊下・動線に支障はなく、子どもの状況や保護者の思いに配慮した個別指導計画を作成している。障害に応じた加配保育士を配置し、他の子どもと無理なく触れ合い、その子の時間・リラックス出来る場所を大切に丁寧な保育をしている。巡回相談やことばの教室など関係機関から指導や助言を受け、障がい児保育に関する内・外部研修(療育センターのびのび教室)等に参加し全職員に周知している。保護者には声掛けや連絡帳・面談など情報を共有し支援に努めている。合同保育(朝・夕)で異年齢との交流を喜び、自ら関わりに行き追いかけてこまごまとして、一緒に楽しんでいる微笑ましい姿が見られた。		☑	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			☑	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			☑	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			☑	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			☑	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			☑	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	☑	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	保育士の勤務シフトが確立し、1,2歳児室で早朝(7:00~8:00)延長(18:00~19:00一日平均6~7人)で合同保育を行い、異年齢と一緒に遊ぶおもちゃや絵本、一人でじっくり取り組める玩具を用意し、ゆったりと迎えを待っている。18:00には補食程度のおやつとお茶を提供をしている。早出保育士からの受け入れ内容の引継ぎや、夕方の遅出保育士への引継ぎを、各クラスボードやメモ・口頭で伝達している。コロナ禍で送迎は玄関対応となっており、保護者との子どもの姿など伝える機会が少なくなっている。今まで以上の連携に一層の配慮を望みたい。		☑	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			☑	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			☑	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			☑	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			☑	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わり配慮している	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	全体的な計画に小学校との連携は明記しているが、コロナ禍で5歳児と小学校の交流は中止となっており、情報交換は電話等で行っている。保護者には1月の個別懇談にて小学校に向けて話し合いを行っている。コロナ禍にあっても映像等を利用して小学校との交流を図り、子どもたちが小学校以降の生活に見通しを持てるように早急に取り組んでほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	年間保健計画に基づいて健康診断(内科年2回・歯科年1回)身体計測等を行っている。看護師が健康マニュアルを作成し日々の健康状態を把握して、嘱託医と連携を図り健康管理に努めている。登園時に検温や視診、保護者からの報告により体調の把握を行い、体調不良時や気になる子どもがいる時は昼礼時に報告して全職員が情報を周知・共有している。職員会議で乳幼児突然死症候群(SIDS)に関して研修を行い周知・徹底して事故防止に努めている。保健だよりを月1回保護者に配信して季節に応じた疾病や対策等の健康管理の情報を提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関する必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	診断の結果は全ての保護者に報告している。歯科健診後歯磨き指導等保育に反映している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	入園時にアレルギー等健康状態を把握し、除去食の対応は医師の生活管理指導表をもとに保護者と連携を取りながら提供している。対象児は別テーブルで(アレルギー毎に別れた)名前と別メニューを記載したボードを保育士と給食室に持参し、調理師と3人で確認・サインを行い、名前と別メニューを記載したプレートに食事を受け取り、喫食前に保育士と再チェックをする。おかわりも保育士と一緒にプレートに付いていた用紙を持参して直接給食室へ受け取りに行く対応を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	各年齢の食育計画を立て、園正面入り口通路壁面に献立表や旬の野菜・魚の分類表を掲示し、子ども・保護者に「食育の大切さ」を知らせている。喫食の早い子遅い子がおり、食べることが嫌にならないよう無理強ひせず、友だちと楽しく食事が摂れるよう心がけている。自園の畑で収穫した野菜をクッキング活動(玉ねぎの皮むきをしくらすでカレー作り)や芋をおやつにし食育につなげている。未満児は密を避け食事の時間を2部制にし、以上児は自分が食べられる量を選び、順次コの字に並べた席で友だちと給食時間を楽しんでいる。食べ終わった子から食器や箸を所定の場所に片付け、歯磨き・遊びのコーナーに戻っている。自主性を尊重し、コロナ禍での工夫した過密にならない給食スタイルにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	毎月給食会議を行い、子どもの発育状況や体調を考慮した献立表を、法人本部栄養士が作成し毎月保護者に配布している。園内に給食室があり、朝の当園時など出汁の匂いや今日のおかずを思わせる匂いが子どもの食べる意欲につながっている。園全体でアレルギーに配慮しナッツ類は除去している。玄米の栄養を残した「金芽米」や旬の野菜・魚を調理し、子どもたちは提供した物はきれいに食べ残食はほとんどない。節分・ひな祭り・誕生日など各月の行事食で日本の文化に触れ、散歩の帰りなど「先生美味しかったよ」とうれい子どもたちの声が響いている。毎日の衛生管理が適切に行われ、安心・安全な食事を提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	クラス懇談会が中止となり、日常は連絡帳やメモなどで情報を共有しているが、送迎時のコミュニケーションが取りにくい状態である。面接希望や保護者の表情からくみ取り必要と感じた時は個別対応している。さらなる工夫を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	現在は保育室に入れない状態が続く、情報共有や保護者不安解消のため、メールやドキュメンテーションでお知らせや当日の活動などを配信している。行事などの変更は保護者説明会を開き伝えていたが今はアプリで配信し、内容によっては手紙でも対応している。保護者から希望があれば個別対応し、保育者から伝えたい時は声をかけて直接話す事もあるが、玄関口が狭く他の保護者に話の内容が聞こえる心配もあり、感染に留意して園内に入って貰う事もある。引き続き保護者不安解消の工夫を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	児童虐待防止の手引きを整備し、気にかかる子については送迎時保護者の様子や子どもの表情など変化がないか観察し、日々の様子を見守りながら、職員間で情報の共有に努めている。疑いのある園児に対し、巡回相談・子ども家庭相談室等関係機関と連携し、チェックシート・見守り票に記録し早期発見・防止に努めている。園内・外の虐待防止職員研修に参加し、職員会議で報告し全職員に共通認識を図っている。コロナ禍において社会が様変わりし、困難ケースが増加している昨今、これまで以上に子どもの見守りを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	階層別研修計画書を作成し活発に参加するよう支援している。個人別目標達成計画のチェック・見直しをし、年2回の園長との面談を通して自己評価を活かしている。職員間のコミュニケーションもよくお互いに協力する関係が育っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。